

2 推進協議会 事業計画

2023年度活動方針

- ① 国内のPETボトルのリサイクルは、市民の分別排出から始まっている。回収、リサイクル、再生利用への流れを定量的に把握し、情報公開する。
- ② 3R推進団体連絡会の方針・目標をもとに、PETボトルリサイクル推進協議会の活動計画を立案し、以下の各委員会にて推進する。

委員会の活動計画

総務・企画委員会

自主行動計画(リデュース)

- 指定PETボトル・主要17種を中心としたPETボトルに関して、重量調査に基づき、軽量化率を算定し、傾向解析を行う。
(P4参照)

消費者・自治体との連携

- 3R推進団体連絡会*活動およびプラスチック容器包装リサイクル推進協議会活動への参加を通して、市民・自治体との意見交換を進め、主体間の相互理解と深化・促進を図る。
(P15参照)

法制度対応

- 「プラスチック資源循環促進法」への対応と容り法改正に対する活動を実施する。
(P12-13参照)

海洋プラスチックごみ問題

- 河川の清掃活動などに参加し、PETボトルの散乱実態、発生要因などを調査し情報収集と分析を行う。
(P14参照)

広報委員会

年次報告書

- 今年度もさらにわかりやすい年次報告書を目指して作成する。
- 推進協議会の取り組みを広報するため、例年通り年次報告書の記者説明会を実施する。
(P15参照)

広報誌RING、Webサイト

- 広報誌「RING」を年1回発行する。
- 推進協議会の活動全般と環境の変化に即した情報を客観的データ、資料をもとにタイムリーに発信する。
(P15参照)

展示会・ポスター・環境学習

- エコプロ2023に出展する。また、外部からの情報提供依頼などに適切に対応する。
(P15参照)

3R推進団体連絡会とは 容器包装リサイクル法の対象である、ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック容器包装、スチール缶、アルミ缶、飲料用紙容器、段ボールの8素材の容器包装の3R推進に係る八団体により、2005年12月に結成されました。資源循環型社会の構築に寄与するため、容器包装リサイクル法に基づく分別収集と再商品化をはじめ3Rを一層効率的に推進するための事業を、広範に推進しています。

回収・再利用促進委員会

PETボトルリサイクル精査調査

- 回収・再商品化量、輸出量および再生樹脂利用量の調査やりサイクル業界実態調査を実施する。
(P6-8参照)

アンケート調査対象先リストの更新

- 調査対象先リストの陳腐化、対象先の減少、未捕捉事業者の増加が懸念され、過去6年間行わなかったリストの更新を実施する。

内外需要動向調査

- 大手メカニカル系事業者や主要事業者について、処理・受入能力、事業戦略や設備投資計画などの調査を行い、情報入手する。

PETボトルの未捕捉量調査検証

- 一般廃棄物または産業廃棄物への使用済みPETボトルの混入量と最終処理状況調査は、2023年度は実施せず、これまで行った4年分の調査結果を分析・検証する。

技術検討委員会

自主設計ガイドライン遵守

- ガイドライン不適合ボトルの調査および事業者への改善要請を行う。継続してガイドライン適合性の新規申請受付を行う。

国内外のリサイクル技術に関する調査および情報発信

- LCA(ライフサイクルアセスメント)手法によるリサイクル効果の評価を行う。
(P9参照)
- 海洋プラスチックごみ問題に関する技術的対応を行う。
(P14参照)